

調査概要

(1)本調査の目的

本調査は、大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るために実施しているものです。

また、市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立するためのものでもあります。

(2)調査の対象学年・学校・生徒数

(1月9日に調査を実施した学校・生徒数は以下のとおり)
中学校第1学年 門真市:6校 598人

(3)調査内容

(調査を実施した教科は以下のとおり)
中学校第1学年 国語・数学・英語

(4)大阪府公立高等学校入学者選抜への活用について
中学生チャレンジテストは、大阪府高校入試の調査書(内申書)の資料として活用されます。

調査結果の概要

【全体】

- ・国語、数学、英語の各教科において府平均を下回っており、府とは約5.3～8.4の得点差が見られます。

【同一集団】

- ・今回の中学生チャレンジテストは、大阪府で行われているものであるため、令和4年実施の大阪府すくすくウォッチ・令和5年実施の全国学力学習状況調査とは、正確に比較することはできません。ただ、参考までに、右下段にグラフを載せています。

【異集団】

- ・令和5年度の同調査と比較すると、国語・数学の教科において府平均との差が縮まりました。英語の教科において府平均との差が広がりました。

○本市では、門真市版授業づくりベーシック(学習指導要領に基づいた授業改善)を推進しています。その成果を大阪府 平均正答率7割以上の問題において見図っており、本市においても同じく正答率7割以上を目指すということを一つの目標として取り組んでおります。
その観点において、今回の結果は以下の通りでした。

令和5年度 国語【全31問中】大阪府(15問)門真市(10問) 数学【全33問中】大阪府(6問) 門真市(3問) 英語【全39問中】大阪府(17問)門真市(14問)
令和6年度 国語【全31問中】大阪府(10問)門真市(10問) 数学【全33問中】大阪府(6問) 門真市(4問) 英語【全39問中】大阪府(18問)門真市(8問)

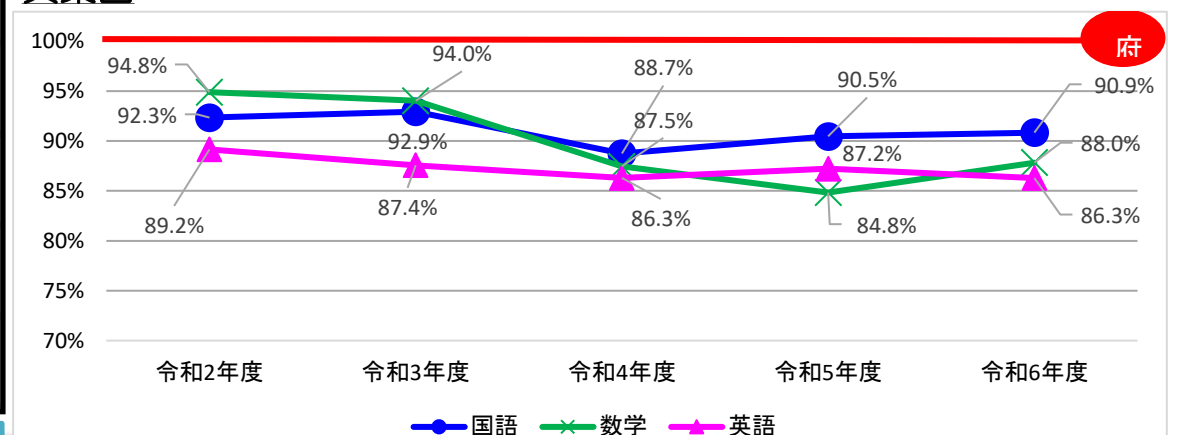
学年・教科別得点

平均得点

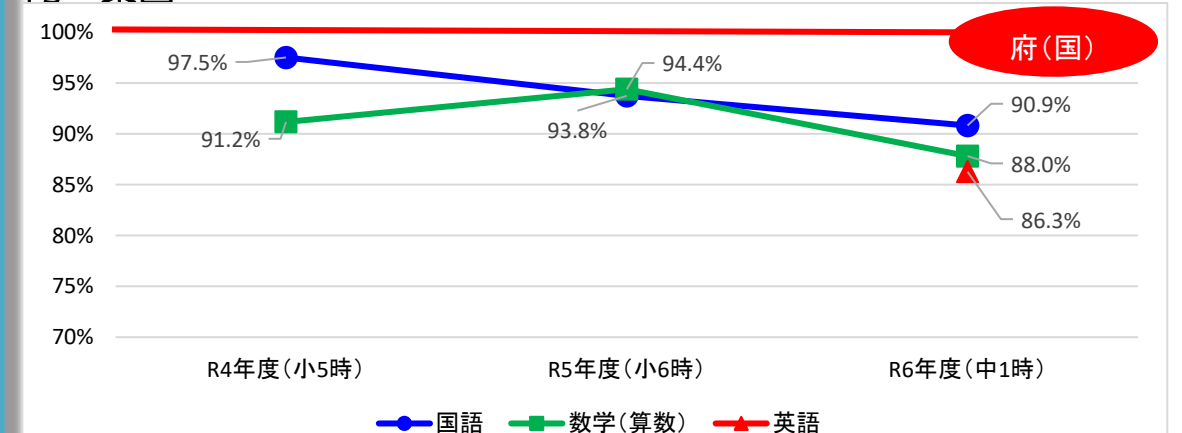
	令和5年度(1年生)		令和6年度(1年生)	
	門真市	大阪府	門真市	大阪府
国語	55.0	60.8	53.2	58.5
数学	46.4	54.7	43.8	49.8
英語	55.9	64.1	53.1	61.5

対府比較による経年比較

異集団



同一集団



※ R4年度は、大阪府すくすくウォッチ、R5年度は全国学力学習状況調査、R6年度は大阪府のチャレンジテストを大阪府(国)と比較しています。

調査結果からわかる成果・課題と今後の取組みについて

【成果と課題について】

○学習指導要領の定着を見とる指標として、府平均正答率7割以上の問題に対して、本市においても同じく7割以上をめざして取り組んでおります。国語においては府平均正答率7割以上問題に対して、門真市も全問題で7割以上の正答率となりましたが、数学・英語では達成できていない結果となっております。また、アンケート結果を見ますと、「授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面」「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面」等については高い傾向にあるものの、「家で自分の苦手なところ、必要としているところを考えて学習する」「社会的な出来事に関心をもつ」等、主体的に学ぶ力や自己調整力等に課題が見られます。

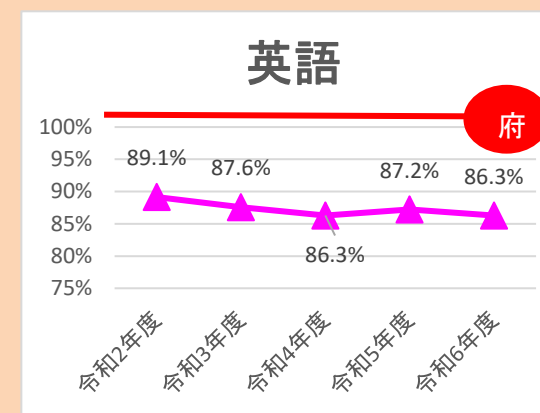
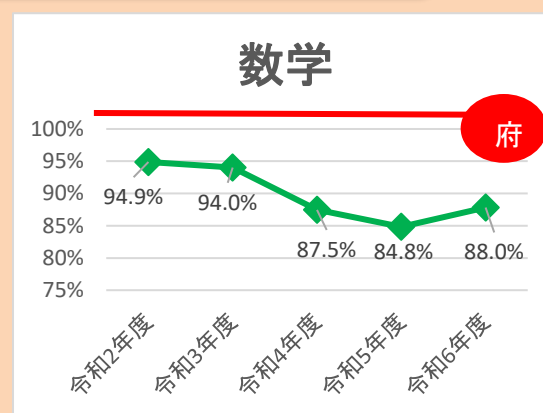
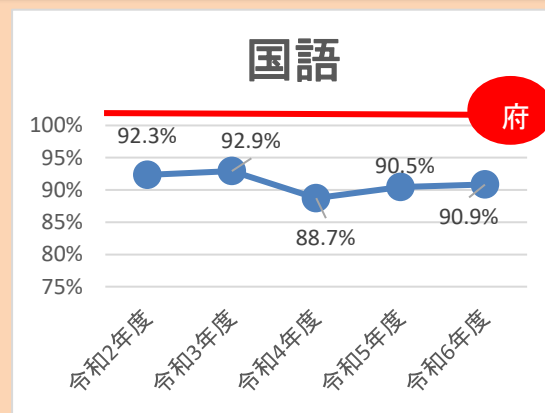
【今後の取組について】

○門真市教育委員会では、子どもたちの将来の自立のため、学習指導要領の着実な定着をめざしております。そのためにも、子どもたちの「主体的に学びに向かう力」「課題を発見・解決する力」を育むため、一律で平準化した一斉授業スタイルの学び方から、子どもたち一人一人の個性に目を向けた「子ども主体」の授業への転換を図っております。今後も「令和の日本型学校教育」の実現をめざし、子どもたちの確かな学力の育成に向けての取り組みを、より一層進めてまいります。

○引き続き、門真市教育委員会指導主事等が定期的に学校訪問を行うなど、学校と教育委員会が一体となり、子どもたちの学力向上の取組を推進してまいります。保護者の皆様におかれましても、ご協力とご支援を引き続きよろしくお願い致します。

※ 今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などの全てを表すものではありません。

平均点における対府比較の経年変化(教科別)



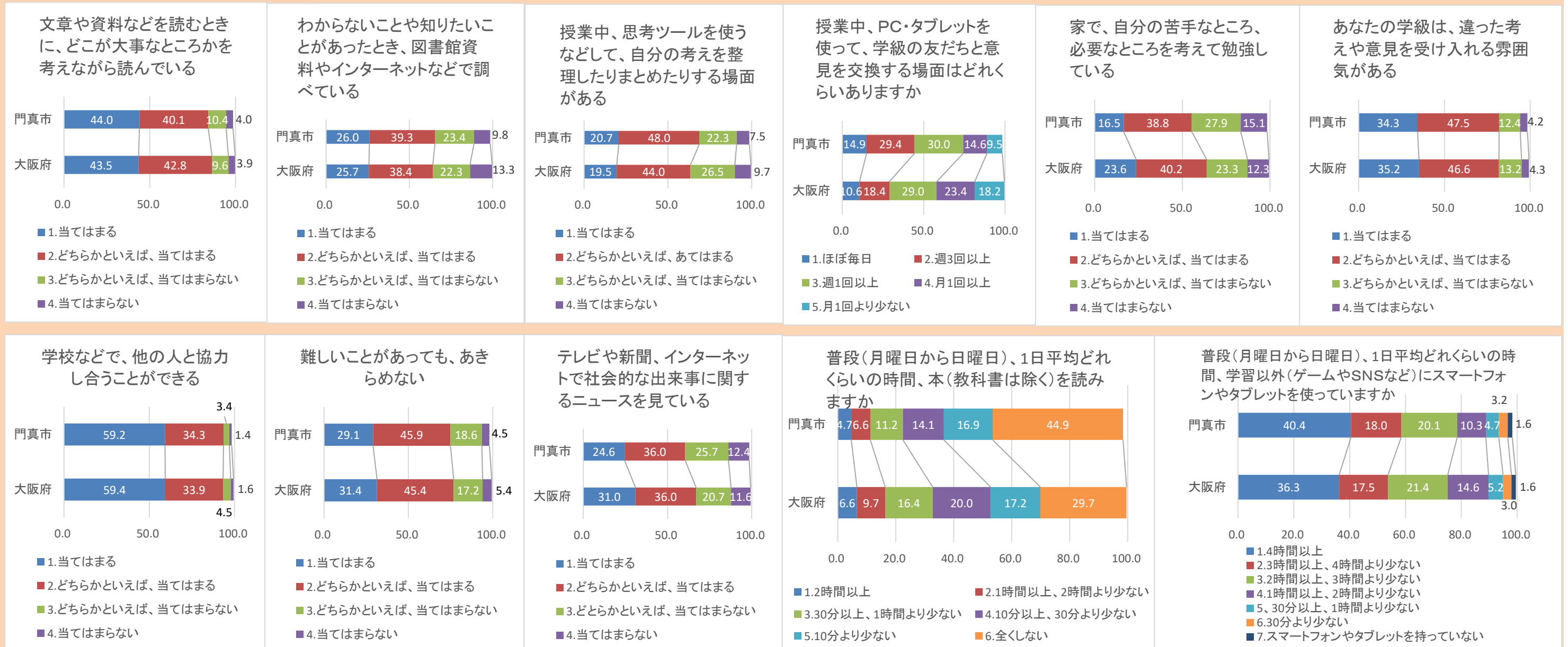
お願い

○今後も学校と門真市教育委員会が連携し、チャレンジテストの結果分析も行い、子どもの力をより良く育成できる授業改善及び学校教育環境の改善をさらに行ってまいります。

○保護者の皆様には、結果が返却される機会に、お家でもお子さまと、学習に関することに加え、スマートフォンやタブレットの活用など、生活習慣について、お話しする機会をつくっていただきますようお願い致します。



生徒アンケート(対府比較)



※ 無回答があるため、全ての数値を足しても、100%にはなりません。